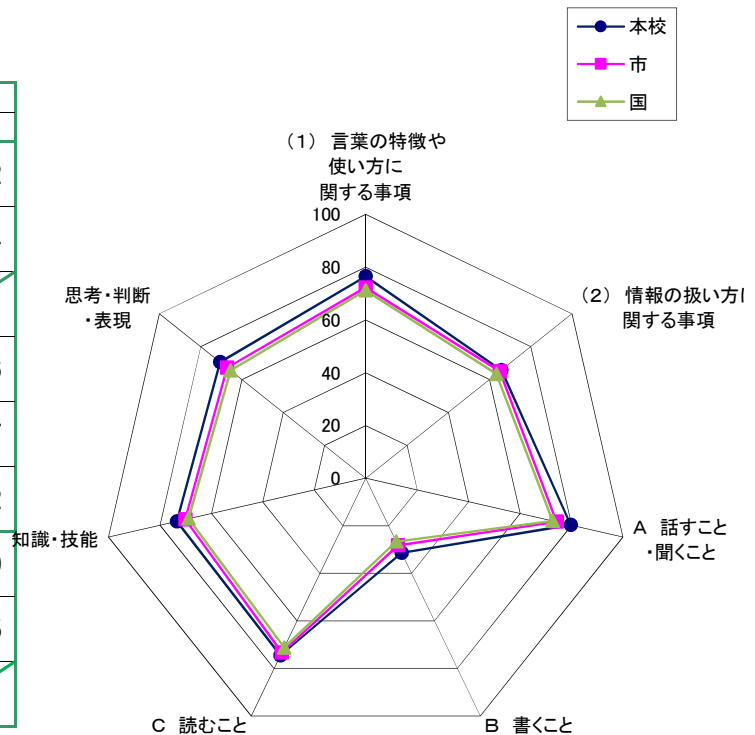


宇都宮市立錦小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【国語】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	76.5	72.3	71.2
	(2) 情報の扱い方に関する事項	65.7	65.0	63.4
	(3) 我が国の言語文化に関する事項			
	A 話すこと・聞くこと	79.7	74.2	72.6
	B 書くこと	31.4	28.2	26.7
	C 読むこと	74.5	73.3	71.2
観点	知識・技能	73.4	70.2	68.9
	思考・判断・表現	70.6	67.2	65.5
	主体的に学習に取り組む態度			



★指導の工夫と改善

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
(1) 言語の特徴や使い方に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、国の平均を5.3ポイント上回っている。 ○文章の種類とその特徴について理解しているかどうかをみる問題では、正答率が国の平均よりも12.4ポイント高かった。 ●漢字の中で正しく使うことができているかどうかをみる問題では、字によって正答率にばらつきがあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・漢字については、家庭学習などを活用し、日常的に漢字の練習に取り組める環境を整え、さらなる定着を図っていききたい。また、意味に合った漢字を適切に使うことができるよう、文章を書いたり、定期的ミニテストを行ったりするなど、書く力の向上を目指していく。 ・普段の授業から語句の意味や使い方を話題にし、児童が意識しながら文章を読み進められるようにしていきたい。また、言葉の意味を調べる学習に進んで取り組ませる。
(2) 情報の扱い方に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、国の平均を2.3ポイント上回っている。 ○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる問題では、正答率が国の平均よりも4.7ポイント高かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでも授業中に、得られた情報を関係付けながら自分の考えをまとめる学習を進めてきた。その結果、自分で情報を整理しながら問題を解くことが身に付いている児童が多い。さらにその力を伸ばすことができるよう、一人一台端末などを活用しながら適切に情報を扱うことができるように指導していく。
A 話すこと・聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、国の平均を7.1ポイント上回っている。 ○必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉える問題では、正答率が国の平均よりも12.7ポイント高かった。 ●目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる問題では、正答率は国の平均を上回っているが、無解答率が高かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチをしたり、自分の考えを述べたりする場面で、自分の考えを相手に正確に伝えるために資料を活用したり、根拠を示しながら説明したりすることができるよう、指導していく。自分の思いや考えを進んで表現することができるよう、国語の授業だけでなく、学級活動やその他の教科でも、意見を述べる機会を意図的に作っていく。
B 書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、国の平均を4.7ポイント上回っている。 ●図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する問題では、正答率は31.4%と国の平均よりも上回っていたが、課題が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図表やグラフなどを用いて、自分の考えを書く際には、何について書くのかを明確にし、得られた事実などから書きたいことを整理するための構成メモを作成するようにして、筋道の通った文章が書けるようにしていく。そのために普段から構成メモや文章構成図を作成してから文章を書くように指導する。 ・文章を書くことに対する苦手意識を少しでも減らすことができるように、自主学習などを活用しながら書く機会を増やしていく。
C 読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、国の平均を3.3ポイント上回っている。 ○目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する問題では、正答率が国の平均よりも4.1ポイント高かった。 ●文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる問題では、正答率が58.8%と国の平均を2.6ポイント上回ったが、課題が見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物語文を読む際は、登場人物の心情やその変化を捉えるために場面ごとの情景描写に注目したり、登場人物の関係について整理したりすることで、表現の効果について考えるよう指導する。 ・学校生活の中で読書活動を積極的に行うことができるよう時間を確保し、スムーズに文章の読み取りができるようにする。